

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	広島県立中央森林公園（公園センター等地区）		
所在地	三原市本郷町上北方 1315		
設置目的	すぐれた自然環境にある森林を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び福祉に資する。		
施設・設備	三景園、駐車場、バーベキュー広場、運動広場、サイクリングロード、研修室等		
指定管理者	5期目	R6.4.1～R11.3.31	（一財）中央森林公園協会
	4期目	H31.4.1～R6.3.31	（一財）中央森林公園協会
	3期目	H26.4.1～H31.3.31	（一財）中央森林公園協会
	2期目	H21.4.1～H26.3.31	（一財）中央森林公園協会
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	（財）中央森林公園協会

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R6	248,200人	213,100人	△19,440人	△35,100人 (85.9%)
	4期平均 R1～R5		256,760人	232,540人	△30,980人	△24,220人 (90.6%)
	3期平均 H26～H30		250,000人	263,520人	25,260人	13,520人 (105.4%)
	2期平均 H21～H25		255,800人	238,260人	△7,807人	△17,540人 (93.1%)
	1期平均 H18～H20		—	246,067人	26,567人	—
	H17（導入前）		—	219,500人	—	—
増減理由	長期にわたる猛暑や繁忙期の悪天候により、公園センター及び三景園の入場者数が減少し、目標を達成できなかった。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】		【対象・人数】
	アンケートの実施		三景園 135 件、イベント 419 件、意見箱 16 件
	【主な意見】		【その対応状況】
	キャンプやたき火のできるアウトドアイベントを楽しみたい。		飛行機に見える空港キャンプや火起こし体験のできるデイキャンプを開催した。
	自転車を使用した体験イベントをしてほしい。		ウォーキングに加え、自転車を利用した里山体験スタンプラリーを開催した。

4 県の業務点検等の状況

項 目		実績	備 考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務実績報告書
	日報（必要随時）	—	
管理運営会議（随時）		【特記事項等】 広島空港周辺施設との連携 【指定管理者の意見】 引き続き、空港周辺施設と連携した取組や新たな連携策の検討を行い、施設の利用促進を図る。 【県の対応】 指定管理者と連携しながら、県としても空港周辺施設との連携に協力する。	
現地調査（3月）			

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	5 期	R6	58,550	△1,791		5 期	R6	36,835	△3,108
	4 期平均 R1～R5		60,341	9,426		4 期平均 R1～R5		39,943	△4,415
	3 期平均 H26～H30		50,915	1,415		3 期平均 H26～H30		44,358	5,035
	2 期平均 H21～H25		49,500	4,880		2 期平均 H21～H25		39,323	△3,013
	1 期平均 H18～H20		44,620	△22,750		1 期平均 H18～H20		42,336	12,749
	H17 (導入前)		67,370	—		H17 (導入前)		29,587	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目			R6 決算額	R5 決算額	前年度差	主な増減理由等
委 託 事 業	収 入	県委託料	58,550	65,298	△6,748	G 7 広島サミット開催に伴う休業補償等による減
		料金収入(※1)	36,835	35,672	1,163	三景園入園料料金変更による増
		その他収入	23,841	19,277	4,564	三景園入園料減免補填額の増
		計(A)	119,226	120,247	△1,021	
	支 出	人 件 費	79,033	73,977	5,056	給与改定による増
		光熱水費	11,146	15,322	△4,176	三景園大池清掃に伴う上下水道代の減
		設備等保守点検費	15,166	13,638	1,528	危険木伐採経費の増
		清掃・警備費等				
		施設維持修繕費	1,632	3,920	△2,288	潮見亭キッチン改修・トイレ撤去完了による減
		事務局費	4,637	4,490	147	
		その他	21,290	22,932	△1,642	レンタサイクル及び食堂テーブルの更新完了による減
		計(B)	132,904	134,279	△1,375	
		収支①(A-B)	△13,678	△14,032	354	
自主事業 (※2)	収 入(C)	28,658	30,164	△1,506	イベント販売手続きの簡略化による減	
	支 出(D)	13,336	15,439	△2,103		
	収支②(C-D)	15,322	14,725	597		
合計収支(①+②)			1,644	693	951	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業
令和 5 年度報告までは、自主事業の収支は委託事業に含めていたが、令和 6 年度報告から分けて記載することとした。

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置 目的に沿った業務実績	三景園、バーベキュー広場及びサイクリング等の利用に加え、利用者ニーズ等を踏まえた各種イベントを開催し、施設の利用促進を図った。	利用者ニーズを踏まえた各種イベントの開催など適切に業務運営を行っている。
	○業務の実施 による、県民サービスの向上	幟旗を設置することでレストラン営業の認知度向上を図るとともに、三景園「恋カフェ」を新たに設置し、施設の魅力向上に努めた。	利用促進のための宣伝や三景園での新たな取り組みにより、認知度や施設の魅力向上に努めている。
	○業務の実施 による、施設の利用促進	空港キャンプやたき火のデイキャンプ、自転車を利用した新たなイベントに取り組み、新規顧客の獲得に努めた。	新たなイベント実施に積極的に取り組むことで新規顧客の獲得に取り組んでいる。
	○施設の維持 管理	サイクリングコースや公園施設内の危険木の伐採や草刈り、ナラ枯れ病蔓延防止等の維持管理業務を行った。	施設内の危険木伐採やナラ枯れ病蔓延防止対策を実施し、安全で快適な利用環境の提供に努めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の 見直し	従業員の資質向上のため、研修受講や資格取得に積極的に取り組んだ。	職員のスキルアップに取り組み、適正な管理運営を行うための体制強化に努めている。
	○効率的な業務 運営	バーベキュー受付レジを導入し、業務の効率化に取り組んだ。	備品の購入等により業務の効率化に積極的に取り組んでいる。
	○収支の適正	経費削減に努め、収支は黒字を計上した。	備品の購入やシフトの見直しにより業務の効率化を行うとともに集客増に向けた取組を行うことで収支適正化を図っている。
総 括		長期にわたる猛暑や繁忙期の悪天候により、利用者数の目標は達成できなかった。今後も空港周辺施設との連携や更なる利用促進のイベント企画に取り組み、引き続き収支の黒字化を図る。	利用者の目標達成に向けて、利用者ニーズの調査・分析を行うとともに魅力的なイベントの企画や効果的なサービスの提供に取り組む必要がある。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和7年度)	三景園や公園センターの利用者が増加するよう、空港周辺施設と連携するとともに、危険木の伐採により、利用者の安全確保と自然環境の改善を図る。	引き続き、安定的な利用者確保のため、より効果的なサービスの提供ができるよう必要な支援を行う。
中期的な対応	老朽化した施設の計画的な維持・管理について、県と協力しながら適切に対応するとともに、利用者ニーズを把握し、目標達成に向けて取り組む。	利用者が安全に利用できるよう施設の状況や利用者ニーズを踏まえ、指定管理者と協議を行い、優先度の高い箇所から計画的に対応を行うとともに、利用促進策について、必要な支援を行う。